渥美半島における防災等の政策目標達成のための一般道整備ルート（案）

○大規模災害時に孤立が懸念される半島先端部まで、交通途絶区間を通らず到達できるルートが現状では無いなか、現行の中部版「くしの歯作戦」では、救助活動拠点候補地（赤羽根文化広場）へと結ぶ国道42号が広域支援ルート（STEP1）に指定されている。

○こうしたなか、最優先の政策目標が「防災」であることを踏まえ、大規模災害時における豊橋市内の広域物資輸送拠点と渥美半島内の地域内輸送拠点間の確実な輸送や浜松湖西豊橋道路との連続性を考慮した将来的な広域支援ルートとしての機能を想定し、「明海南交差点」から「道の駅 伊良湖クリスタルポルト」間を結ぶ県道豊橋渥美線と国道259号を主たるルートとする機能強化を図る。

○機能強化は、早期整備の観点から、まずは交通途絶が懸念される区間に対し、周辺の既存現道による回避（　）を基本とし、回避困難な区間は現道改良やバイパス整備（　）を実施する。

○その上で、防災以外の政策目標の達成に向けて必要な整備（　）を実施する。

■一般道整備ルート

※1：浸水深0.3m以上を交通途絶区間として定義
※2：土砂災害（特別）警戒区域、山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、崩壊土砂流出区間に指定された箇所を交通途絶区間として定義

出典：愛知県津波浸水想定（津波（L1）過去地震最大）H26.11、津波（L2）最大クラス H26.11）、愛知県オープンデータカタログ（土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域）、愛知県提供資料（山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、崩壊土砂流出区間）より抽出